

学校関係者評価会議報告

秋田県立湯沢高等学校稲川分校

- 1 日時 平成29年2月13日(月) 17:00~18:00
- 2 場所 稲川分校図書室
- 3 参加者 18名
- 4 次第

(1) 校長挨拶

本日はお忙しい所、本会議に御出席を賜り感謝申し上げます。この会議は教師と生徒が学校を評価した結果を、皆さんに評価してもらうものであります。忌憚なく御意見を頂ければと思います。本日はどうかよろしく申し上げます。

(2) 資料説明

① (教頭から学校の概要について)

I校訓、II建学のころ、III教育方針、IV重点目標については、昨年度までのものを踏襲している。Vの今年度の目標を踏まえ、学校全体の課題を解決しつつ、生徒個々の能力を伸ばすために各分掌、並びに教師一人ひとりが努力を続けている。その状況が、VIの学校の特色、VIIの進路状況、VIIIの生徒の生活状況に記されている。

しかしながら、まだまだ改善の余地はあり、来年度は生徒数が6人となるため、新たな改善方法を模索していく所存である。

② (総務部)

学校行事は、生徒の協力を得て円滑に実施することが出来た。風紀委員会と協力して災害対応訓練等を実施した。これらの経験を通して、生徒は様々な「生きる力」を身につけた。今後は、他校との交流事業や地域住民を交えた学校行事を展開するなど、さらに生徒の「生きる力」を伸張させる事業を推進するとともに、閉校に向けた準備を進めていく。

③ (教務部)

現2年生の生徒の実態に合わせ、教育課程の商業科目を一部変更したことで、より効果的な授業を展開することが出来た。学校設定科目においては、学び直しと演習の繰り返しにより、生徒の基礎学力の定着を図ることが出来た。話型の提示により、生徒が授業中に発言しやすい環境を整えた。教師相互の授業参観や、生徒への授業アンケートの結果から、教師それぞれが授業の改善に努めた。

次年度に向けては、これらの方策をさらに発展させるとともに、閉校に向けて保管義務のある書類(要録など)を適切に保管する準備を行う。

④ (進路指導部)

就職未定者が1名いるが、他の9名は早期に卒業後の進路を決定させた。日常の学校生活の中で、教師が一丸となって基本的な生活習慣や社会人としてのマナーを身につけさせる指導を行ったことが功を奏したと言える。今後も継続していきたい。

また、今年度は進路講話の講師に校長の他、振興会会長や地元企業に就職した卒業生を招いて実施したところ、大変好評であった。来年度も振興会や同窓会の協力をお願いしたい。

ただ、進路決定の際に家庭での話し合いが不十分であったため、いろいろ難儀した生徒もいる。来年度への課題としたい。また、来年度は早期離職者を防止するねらいから、5月中旬ぐらいを目途に職場訪問を実施したい。

⑤ (生徒指導部)

問題行動や整容の乱れ等で指導を受けた生徒はいない。全校生徒が16人と少数のため、先生方の目が行き届いている。

生徒の活動としては、あいさつ運動を、今年度は風紀委員会としてではなく、人数が少ないので、全校生徒の週番活動として行った。このことは生徒個人に対するあいさつ指導にもつながった。交通安全

指導については、春に風紀委員による街頭指導や交通安全教室を行った。秋は保護者の協力を得て、風紀委員があいさつ運動を実施した。

性教育講座や薬物乱用防止講座は、生徒の実態について事前に講師と綿密な打ち合わせを行っていたのでとても分かりやすいものとなり、生徒の興味・関心を引いた。

来年度に関しては、職員・生徒共に人数が少ないので、役割分担や活動内容を見直し、円滑に業務を進めることが出来るよう配慮する。

⑥ (特別活動部)

生徒会役員は早めに行事の計画や準備を行ったり、委員会も盛り沢山の内容を精力的にこなすなど、どの組織も活発に活動した。そのおかげで、生徒は自分の仕事について深く考え、工夫したり、確認や報告が出来るようになった。人数は少ないが、生徒一人ひとりが責任を持って周囲と協力して活動できるようになった。

来年度は、わずか6人で全てを運営することになるので、活動内容を精選したり、学校行事のやり方を工夫するなど、生徒の負担感が増大することのないよう配慮しなければならない。

また、閉校に向けた特別行事の計画や、これまでの行事の実施方法について、検討を加えていかなくてはならない。教職員も情報を共有し、積極的に関わっていくことが必要になってくる。

⑦ (保健・教育相談部)

「清掃チェック表」や「歯磨きチェック表」を用いることで、生徒の自主的な活動が見えるようになった。「保健だより」を通じて、感染症や心身の健康に関する身近な話題を提供することが出来た。また、講話の予習や復習になる内容を盛り込むことで、生徒の知識の定着に役立った。アンケート調査でも、その結果がうかがえた。

スクールカウンセラーの積極的な活用により、精神的に安定した学校生活を送れるようになった生徒がいる。特別支援を必要とする生徒に関しては、定例の職員会議等で情報を教師間で共有することにより、善処できたケースが多い。

課題は、眼科や歯科の受診率が低いことと、来年度は少人数で広い清掃区域を担当しなければならないことと、今後、対処法や実施方法の工夫を検討していきたい。また、「保健だより」をさらに有効活用して、生徒の健康に関する意識向上や自己管理の大切さを訴え続けていきたい。

⑧ (図書・情報管理部)

生徒(実業部員)がホームページの原稿を作成して分校の情報を発信することにより、情報機器の使い方やポイント、注意点などを学んだ。今後は閉校に向けた様々な情報を発信していきたい。

図書室の利用については、「図書だより」の発行や新刊情報の提供、県立図書館から図書の借り入れ、などを行って図書室利用の活性化を図ったが、本を借りる生徒は、ごくわずかだった。沢山の良い本があるので、是非読んでもらえるよう工夫していきたい。

閉校に向けて、学校図書の管理については、本校の事務室と協議して進めていく。

⑨ (2年部)

ボランティア活動や体験学習、稲川支援学校の生徒さんたちとの共同作業など、校外での活動を数多く行ってきた結果、生徒たちは徐々に自信を深め、大きな声であいさつしたり、会話をしたり、積極的に活動することが出来るようになった。進路ガイダンスの模擬就職をきっかけに、自分の進路についても考えるようになってきた。1年間で見違えるように成長した生徒もいる。

来年度はいよいよ進路を決定しなければならないが、まだまだ未熟な点も多く、早い時期から準備を進めていくと同時に、これまで以上に校外での活動を行っていきたい。

さらには、是非とも関係機関の支援をお願いしたい。

⑩ (3年部)

就職希望者は職場見学や企業説明会に参加したり、進学希望者は複数の学校を体験したり、比較検討したりするなど、早い時期から生徒自身が積極的に活動した。また、分校独自の教育課程で培われた基礎学力が役に立った。3年生として、いろいろな場面で「長」の付く役割を体験したことで、リーダーとしての資質を身につけた生徒もいる。

このような生徒の活動を、全職員が協力してサポートした部分も大きい。情報の共有もあり、日常から就職活動の支援が出来た。さらには同窓会や地域住民、就職支援機関の協力も大きかった。今後もこの支援体制は継続させたい。

なお、進路決定に関しては、家庭内で十分な話し合いがなされることが重要である。

⑪ (職員の学校評価)

各観点ともおおむね良好であり、服装・整容に関しては全員が満点の評価である。進路に関して組織的な指導がやや出来なかったことと、生徒の他校との交流を増やしていくことが課題である。

⑫ (生徒の授業アンケート結果)

大変高い評価をもらっている。教員一人ひとりが生徒の実態をよく把握し、授業の改善に努めている。

(3) 協議 (質疑応答)

① (学校評議員)

今年は分校の話題が新聞によく掲載されていて、地域住民も注目している。地域の人たちと、とてもよく交流しているのが良い。コミュニケーションがよくとれている。

② (振興会長)

来年度は職員の数が減らされると思うが、どのようになるのだろうか？

→ 2人減ります。県教委には十分配慮してもらっています。

③ (PTA会長)

前もって渡されたこの資料を読み、そして今日、先生方からお話を聞いて、こんなにも先生方が生徒のためにやっけていただいていることを、初めて知りました。本当に有り難いことです。間もなく6人になり、大変御難儀をおかけすると思いますが、これまで通り、よろしくお願いします。

④ (振興会副会長)

昔と違い、学校の様子は随分変わって、生徒は良くなったと思う。少子化が原因であれ、この分校が無くなるのはとても残念だ。近くに住んでいるが、生徒の声が地域を活性化させている。生徒がいなくなった時に今の賑わいを維持できるよう取り組まないと、この地域は衰退してしまう。

→ バスの便数も減るでしょうね。

⑤ (振興会理事)

災害対応訓練で、実際に消火器を使わせる体験をさせてみてはどうか？恐らく誰もやったことが無いと思う。また、6人で来年の行事はどのようにやっていくのか？

→ 消火訓練は前向きに考えたい。

→ 行事については検討中だが、地域の方々との交流の場にしたいという考えもある。

⑥ (振興会理事)

決まったら是非教えて欲しい。

→ 6人には6人の良さがある。彼らの意見も取り入れなくてはいけない。そこを考慮しながら、地域との交流もしていきましょう。

⑦ (同窓会事務局)

逆に、地域の行事に生徒が参加する機会があってもいいのではないかと？地元住民は歓迎する。賑わいも見せるだろう。小規模校ならではの指導は行き届いていると思うが、知らない環境に飛び込んでいろいろやっていくこともいいのではないかと？生徒自身がどう取り組むかだと思う。

5 その他

(学校評議員)

閉校に向けて、湯沢市は協力してくれる方向で動いているようだ。